

平成22年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

基本目標 I 地域福祉の理解を広げよう

市民一人ひとりの日常生活上の問題に対して、当事者はもちろんのこと、同じ地域に暮らす市民として共感し、さまざまな課題を分かち合い、解決に向けて動き出せるよう、地域づくりを行なうことが必要です。

そのため、地域福祉への理解を深めるとともに、一人でも多くの市民が関心を高めることができるよう取り組みを進めました。

目標達成のための取り組み

重 1 広報・啓発の強化

(1) 広報紙の充実と役割分担

- ・ テレビや新聞等のマスメディアの積極的活用 <全部署>
- ・ 広報紙の発行 <振興課・施設部・研修課・周望・穴生>
「市社協だより」・「ひと&ひと」(年4回 160,000部)
「ウエル新聞」年12回
広報紙 「周望」・「学舎案内」各年1回、「周望かわら版」年4回
広報紙 「穴生学舎」年1回、「穴生かわら版」年5回
- ・ 民間社会福祉事業従事者研修会でPR <振興課>
- 新・ 企業における社会貢献活動の広報と啓発 年4回 <活動推進課>
- ・ ボランティア活動ガイドの作成(1,300部) <活動推進課>
- ・ 研修パンフレット「やさしさの広がるまちづくり」の発行(4,500部) <研修課>
- 新・ 市内の店舗やJR情報掲示板を利用した事業PR
チラシ、ポスター等の掲示等 <福祉人材バンク>
- ・ 新聞折込等を利用した有料広告(270万部) <福祉人材バンク>
- ・ 夢追塾啓発パンフレット等の発行(3,000部) <周望・穴生>
- 新・ ポスター掲示場所(無料)の新規開拓 <周望・穴生>
(モノレール各駅へのポスター掲示)

(2) 出前講演活動等の効果的推進

- 重・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施 <全部署>
 - * 権利擁護・市民後見センター (21回、参加者数 785人)
 - * 活動推進課 (9回、参加者数 274人)
 - * 穴生ドーム (48回、参加者数 1,281人)
 - * 地域福祉課 (37回、参加者数 2,079人)

(3) ホームページ掲載情報の整理と充実

- ・ 「らいと」ホームページ活用による地域福祉権利擁護事業、法人後見事業の周知及び広報 <権利擁護・市民後見課>
- ・ 「ウエルとばた」ホームページを活用した情報発信 <施設部>
- ・ ホームページを活用した福祉情報の提供(年6回更新) <活動推進課>
- ・ 年長者研修大学校の講座、行事、高齢者ボランティアの情報提供
アクセス件数(周望 12,791 件、穴生 56,338 件) <周望・穴生>
- 新・ 年長者研修大学校、北九州穴生ドーム、夢追塾の三施設が連携したホームページによる利用者へのサービス向上 <周望・穴生>
(穴生学舎つれづれ日記を6月から掲載)
- ・ 生涯現役夢追塾の講座や卒塾生の活動情報の提供 <周望・穴生>
- ・ 北九州穴生ドームの利用情報の提供 <周望・穴生>
(毎月の予約状況を掲載)

(4) 市民参加型啓発活動事業の推進

- 新・ 市社協創設 45 周年記念
市民ふれあいフェスティバルの開催(参加者 4,307 人) <活動推進課>
- ・ 区社協ボランティア・市民活動センターボランティアフェスタ企画支援 <研修課>
- ・ 年長者研修大学校をPRする短期自主講座の開催 <周望・穴生>
(周望体験入学、穴生1日体験 年6回、119人)
- ・ ニュースポーツの出前講座(再掲) <穴生>
- ・ 高齢者の生涯学習参加啓発講座(年32コース) <周望・穴生>

(5) 各種事業を通じた広報・啓発の取り組み

- 新・ 市社協創設 45 周年記念事業の実施 <全部署>
- 新・ 市社協創設 45 周年記念表彰式典の実施 <振興課>
(被表彰者 664 人、感謝状贈呈 36 人、特別感謝状贈呈 36 人)
- ・ 収益事業を通じた広報・啓発事業の取り組み <振興課・地域福祉課>
(まちづくりクッキー854箱の販売)
(Tシャツ 617 枚、エプロン 194 枚、ポロシャツ 940 枚の販売)
- 新・ プチボザウルス着ぐるみの制作による広報活動(21回) <振興課>
- ・ 「認知症サポーター養成講座」による福祉の風土づくり <地域福祉課>
(認知症サポーター養成 190 回、キャラバンメイト養成 1 回、
登録サポーター 6,919 人・登録累計 26,318 人)
- ・ ボランティア活動ビデオ、機材の整備及び提供(490件) <活動推進課>
- ・ 市民講演会の実施(1回 1日 67人) <研修課>
- ・ 市民講座の実施(4回 17日 106人) <研修課>
- ・ 区社協ボランティア・市民活動センター講座の企画支援 <研修課>
- ・ 「ウエルとばた」の地域福祉活動拠点機能のPR(15回) <施設部>

- ・ 一般大学活用型授業や公開講座、作品展等の施設行事の実施による啓発活動の強化 (339回、11,931人) <周望・穴生>
- ・ 高齢者の資格・健康等情報発信・授業、相談コーナー設置 <周望・穴生>
(健康に関する授業 32 コース 2,263 人、図書娯楽コーナー 1,041 人)
- ・ 夢追塾のフォローアップセミナー、公開講座の実施による啓発活動の強化
(公開講座 1回 187 人、フォローアップセミナー1回 178 人) <周望・穴生>
- ・ 研修生・塾生募集新聞折込チラシ (13 万部) <周望・穴生>

2 福祉教育の推進

(1) 体験型福祉教育の推進

- ・ 小・中・高校生・親子ボランティア体験の実施
(夏休み期間 2 コース 1,698 人) <活動推進課>
- ・ 異世代に対する伝承活動、世代間ふれあい交流の実施 <周望・穴生>
(夏休み年長者と孫の集い他 60 回 1,055 人)
- ・ 留学生との交流・支援 (4回 156 人) <周望・穴生>
- ・ 年長者研修大学校全研修生に対する必須科目としての福祉授業の充実
(年間 3 2 コース、136 回 3,810 人) <周望・穴生>
- ・ 福祉施設、市民センターにおける体験型学習の拡大実施 <穴生>
(年間 10 回)
- ・ 世代間交流として小・中・高校生対象にニュースポーツ体験事業 <穴生>
(穴生ドームフェスタ 5,703 人)

(2) 社会福祉協力校指定事業の充実

- ・ 継続 20 校、新規 10 校 (小学 6 校、中学 4 校) 指定 <活動推進課>

(3) 各機関が実施する福祉教育の調整

- ・ 福祉教育セミナーの実施 (1回 20 人) <活動推進課>

3 地域福祉人材の育成

(1) 社会福祉ボランティア大学校、年長者研修大学校などをはじめとする社会福祉協議会が持つ研修機能の充実

① 社会福祉ボランティア大学校の研修機能の充実

- ・ 福祉を切り口に、地域コミュニティの再構築に取り組む人材の育成
- ・ ボランティア活動者やNPO等との協働による講座の企画・運営 <研修課>
 - 市民講演会の実施 (再掲)
 - 市民講座の実施 (再掲)
 - ボランティア活動者研修の実施 (年 2 回、4 日、41 人)
 - ボランティアリーダー研修の実施 (年 1 回、2 日、21 人)
 - 傾聴ボランティアフォローアップ研修の実施 (年 2 回、2 日、46 人)

重・ 地域活動者、ふれあいネットワーク事業関係者のスキルアップ、活動者同

士のネットワークづくり

＜研修課＞

- まちづくりゼミナールの実施 (年1回、5日、26人)
- 地域支援ボランティア研修の実施 (年7回、23日、227人)
- トップセミナーの実施 (年1回、1日、215人)
- 校(地)区社協新任役員研修の実施 (年1回、1日、77人)
- 新任福祉協力員研修の実施 (年5回、7日、302人)
- 現任福祉協力員研修の実施 (年4回、4日、318人)
- 新任、現任合同福祉協力員研修の実施 (年2回、2日、433人)
- 校(地)区社協個別研修の実施 (年8回、9日、357人)
- 地域福祉活動専門研修の実施 (年2回、2日、83人)
- ・ 地域福祉、ボランティアに関わる専門職としてのスキルアップ＜研修課＞
 - ボランティアコーディネーター養成の実施 (年1回、2日、33人)
- ・ 地域やボランティア活動団体への研修企画の支援 ＜研修課＞
(ビデオ貸出 28件 77本 研修に関する相談 12件)

② 年長者研修大学校等の地域活動・ボランティア活動への参加意欲増進

- ・ 北九州シニアネットアカデミー運営改善委員会 (年3回) ＜周望・穴生＞
- ・ ボランティアフェスタ IN 八幡西へのボランティア参画 ＜穴生＞
(昔遊び教室、折り紙教室、ニュースポーツコーナー、生け花)
- ・ ボランティアグループ、研究クラブ等の地域とのコーディネート＜穴生＞
(コーディネート163回、講師派遣7回)
- ・ 地域活動情報センターとの連携 ＜穴生＞
(地域コーディネート19回、研修31回、講師派遣2回)
- ・ 社会福祉施設等におけるボランティア活動体験や学舎内及び地域との
コーディネート取り組み (年456回、研修3回、講師活用8人) ＜周望＞
- ・ パソコンボランティアの育成と支援 (9人 80回) ＜周望・穴生＞
- ・ 地域活動リーダーの養成と地域貢献などを旨とする専門コースの実施
(各学舎3コース 187人) ＜周望・穴生＞
- ・ 研修生による地域清掃活動や通学路での子どもの見守り活動の実施
(年間89回 2,492人) ＜周望・穴生＞
- ・ 健康・体力づくり指導者の養成 ＜周望・穴生＞
(健康ボランティア養成研修の実施 3日 58人)
- ・ 傾聴ボランティア入門講座の開催 (7回、135人) ＜穴生＞
- ・ 腕自慢おまかせサービスボランティア養成講座開催 ＜穴生＞
(2回、29人)
- ・ 実技コース、研究クラブ生の市民センター文化祭作品展示 ＜周望＞

③ 研修参加者の実践支援

- ・ 民間社会福祉事業従事者の資質向上を目指した研修会の実施
(メンタルヘルス研修：1回 110人) <振興課・福祉人材バンク>
- ・ これから高齢を迎える世代の社会貢献や起業支援を行う夢追塾事業の実施
(5期生 42名、内男性 24人、女性 18人) <周望・穴生>
- ・ ボランティア会員研修会の支援 <穴生>
 - 認知症サポーター養成講座 (1回 26人)
 - 高齢者の水分・栄養補給、インフルエンザ講習 (2回 33名)
 - 応急手当法講習会 (1回 12人)

(2) 地域福祉活動、ボランティア活動分野への講師等の開拓・育成

- ・ 子育て支援ボランティア講師等養成講座の開催 (1回 50人) <周望>
- ・ 地域活動者との交流授業の実施 (3回 36人) <周望>
- ・ 高齢者の健康体力づくり指導者研修の開催 (1回 34人) <周望>
- ・ 健康づくりボランティアの養成研修 (1回 58人) <穴生>

基本目標 II 住民による身近な地域づくりを進めよう

地域に暮らすすべての人々が生き生きと安心して暮らせるまちにするためには、公的な福祉サービスの充実はもちろん、地域内の問題は住民自らの問題として、協力して解決に取り組むことが必要です。

このため、住民同士が力を集め、支援を必要とする人たちのニーズを把握し、支援の輪をつくり、自発的参加による福祉活動を進めました。

目標達成のための取り組み

1 小地域福祉活動の活性化

(1) 校(地)区社会福祉協議会活動の支援

重・ 区域における校(地)区社協会長会議への参画(全区参画) <地域福祉課>

重・ 複数年の校(地)区単位の活動計画づくりの普及 <地域福祉課>

(地域福祉活動専門研修 2回、参加者 83人)

- ・ 社協が持つ研修機能を活用した小地域福祉活動の人材育成の充実
(26回、1,785人) <地域福祉課>
- ・ 地域の子どもの育てる事業の実施 <地域福祉課>
次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ活動)の実施
(32地区、児童数 650人)
- ・ 広報誌、活動事例集、ホームページ等による校(地)区社協活動紹介
(市社協広報誌 4回、ホームページ作成 10校区) <地域福祉課>
- ・ 校(地)区社協とボランティア・NPO団体との連携促進
(体験型福祉教育等で連携) <地域福祉課・活動推進課>
- ・ 健康と福祉のまちづくり事業の普及 <地域福祉課・穴生>
(出前講演 2回、70人)
- ・ 障害のある人を地域で支える活動 <地域福祉課>
(出前講演 1回、18人)
- ・ 小地域福祉活動活性化による地域住民への広報啓発の仕組みづくりの検討
(実施要領の見直し実施) <地域福祉課>
- ・ 新しい絆づくりの検討 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区社協交流研修事業 <周望>
(エコタウンバスハイク研修 1回 35人)

(2) ふれあいネットワーク事業の充実

- ・ 国庫補助事業「安心生活創造事業」の活用によるふれあいネットワーク事業の充実・強化(8校(区)でモデル事業実施) <地域福祉課>

重・ 「いのちをつなぐネットワーク」との連携促進 <地域福祉課>

(国庫補助事業を活用したふれあいネットワーク事業充実強化による連携促進)

重・ 区域における校(地)区社協ふれあいネットワーク担当者会議への参画

(区域での定例化を促進) <地域福祉課>

- ・ 集合住宅等での孤立死防止対策の普及 <地域福祉課>
(出前講演 1回、参加者数 60人)
- ・ 校(地)区社協活動者交流会の開催 (1回 167人) <地域福祉課・研修課>
- ・ 活動の実績に応じた活動費(共通・協働事業)の助成 <地域福祉課>
(共通事業 155地区、協働事業 85地区)
- ・ 連絡調整会議の活性化 <地域福祉課>
- ・ 協働事業の推進(第3者による協働事業選定会設置) <地域福祉課>
- ・ 共通事業・協働事業の発展的見直し(実施要領見直し) <地域福祉課>
- ・ 民生委員児童委員協議会との連携 <地域福祉課>
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者や法人後見事業利用者における、民生委員やふれあいネットワーク等地域住民を含めた支援ネットワークの充実
(校(地)区社協等への出前講演 7回 488人) <権利擁護・市民後見センター>

(3) 年長者研修大学校修了生等の小地域福祉活動への結びつきの促進

- ・ 「ふれあいいいききサロン」の実施(年 22回 1,880人) <穴生>
- ・ 高齢者による子育て活動への支援(16回 2,800人) <穴生>
- ・ 地域活動コーディネーターの専任配置(再掲) <周望・穴生>
- ・ 地域活動情報支援センターの設置による人材育成と需給調整及び情報収集・発信、地域活動支援、修了後の活動支援(再掲) <周望・穴生>
- ・ 小地域活動の健康づくり支援としてニュースポーツ出前事業、健康ボランティアによる活動支援 <周望・穴生>
(ニュースポーツ出前講演 48回 1,281人)
(健康ボランティア活動支援 97回 892人)

(4) 子育て支援の充実

重・ 児童いきいきサロン応援団モデル事業の推進(2施設) <活動推進課>

2 ボランティア・市民活動の支援

(1) ボランティア・市民活動センター、区社協ボランティア・市民活動センター機能の充実

① 市内のボランティア等支援機関との連携

重・ 各区社協ボランティア・市民活動センターへの支援強化<活動推進課>

区役所ワンストップ支援サービスの実施に伴い、区社協事務局と遠隔した区センターの設備・人員体制の支援

重・ NPO団体や企業を含めた関係機関・団体との協働の基盤づくり

<活動推進課>

日本ボランティアコーディネーター協会主催による検定講習、コーディネーター養成研修などの開催支援

- ・ 他機関等のボランティア関連研修・講座の情報収集・発信 <研修課>
- ・ 区社協ボランティア・市民活動センター講座の企画支援（再掲） <研修課>

重・ 市民センターを中心とした地域活動者対象の研修の実施

地域支援ボランティア研修（再掲） <研修課>

- ・ 市民センター館長研修等の企画支援（年2回、2日、82人）
- ・ 地域活動情報センターとの連携（再掲） <穴生>
（研修生活動体験、地域コーディネート19回、研修31回、講師活用2回）
- ・ 社会福祉施設等におけるボランティア活動体験や学舎内、地域とのコーディネート及び新規開拓（再掲） <周望>
（研修生活動体験、地域コーディネート456回、研修3回、講師活用8回）
- ・ パソコンボランティアの育成及び支援（再掲） <周望>
（9人延べ259人、瓦版入力編成6回、研修3回）
- ・ ボランティアグループ等と地域とのコーディネート（再掲） <穴生>
（コーディネート163回、講師派遣7回）
- ・ 傾聴ボランティア入門講座開催、ボランティア体験（再掲） <穴生>
（入門講座5回 112人、ボランティア体験2回 23人）

② 区社協ボランティア・市民活動センターと市民センターの関係づくり

- ・ 市民センターにおけるボランティアコーナーとの連携強化<活動推進課>
- ・ 区社協ボランティア・市民活動センター活用の啓発 <研修課>

③ ボランティアネットワークの構築

重・ 区社協ボランティア・市民活動センター、校(地)区社協等との連携による事業実施の充実 <活動推進課>

(2) 北九州シニアネットワークアカデミー機能の活用

- ・ 自主財源確保のための短期自主講座の開催 <周望・穴生>
（講座、大会 30講座の開催）
- ・ 地域活動コーディネーターの専任配置（再掲） <周望・穴生>
- ・ 地域活動情報支援センターの設置による人材育成と需給調整及び情報収集・発信、地域活動支援、修了後の活動支援（再掲） <周望・穴生>
- ・ 地域活動リーダー養成や社会貢献などを旨とする専門コースの設置（再掲） <周望・穴生>

(3) サービス提供等を通じたボランティア活動機会の確保、提供

- ・ 各種基金助成金の紹介・申請協力(34回) <振興課>
- ・ シルバーひまわりサービス(在宅虚弱高齢者送迎事業)の実施 <活動推進課>
ボランティア登録1,024人、利用登録814人、利用件数3,611件
- ・ 腕自慢おまかせサービス事業の実施 <活動推進課>
ボランティア登録360人、実施件数104件

- ・ 地域福祉支援事業 ＜活動推進課＞
 ボランティア保険掛金助成 22,467 人、助成額 2,656 千円
 研修参加助成 3 人（全国ボランティアフェスティバルひろしま）
- ・ 福祉有償運送運転協力者研修の実施（年 4 回、8 日、77 人） ＜研修課＞
- ・ 「ウェルとばた」の管理運営事業を活用して、ボランティア活動の場や市民活動の発表の場の提供 ＜施設部＞
- 新・ 施設を有効活用した市民参加型のにぎわい創出事業の実施 ＜施設部＞
 （「ステージでグランドピアノを弾いてみませんか」 2 回 50 人）
 （「個展を開いてみませんか」 7 件）
- ・ 年長者研修大学校ボランティア指導員の登用（11 人） ＜周望・穴生＞
- ・ 年長者研修大学校の地域開放事業等の実施 ＜周望・穴生＞
- ・ 夢追塾ナビゲーター補への登用（15 人） ＜周望・穴生＞

3 役割分担と協働の促進

- (1) 校(地)区社会福祉協議会活動とボランティア、NPOとの連携・協働の仕組みづくり
 - ・ 校(地)区社協へのボランティア、NPO団体の参画と促進 ＜地域福祉課・活動推進課＞
- (2) 校(地)区社会福祉協議会活動と学校との連携強化
 - ・ 学校と連携した次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施（再掲） ＜地域福祉課＞
 - ・ 福祉教育における校(地)区社協との連携強化（再掲）
 継続 20 校、新規 10 校指定（小学 6 校、中学 4 校） ＜活動推進課＞
- (3) 校(地)区社会福祉協議会活動とまちづくり協議会との役割分担の明確化
 - ・ 校(地)区社協とまちづくり協議会の役割分担と協働の促進 ＜地域福祉課＞

4 災害時の福祉救援体制づくり

- (1) 小地域単位の福祉救援体制づくり
 - ・ 民生委員児童委員と連携した福祉救援活動への取り組み推進 ＜振興課＞
 - ・ 校(地)区社協を中心とした福祉救援体制づくり ＜地域福祉課・活動推進課＞
 （実施要綱の見直し、地域防災講座の開催 1 回 85 人）
 - ・ 年長者研修大学校全研修生に対する防災意識の高揚と救急救命講習及び教室の実施（12 回 379 人） ＜周望・穴生＞
 - ・ 地域団体・福祉施設との地域防災協定に基づく防災訓練の実施（年 1 回） ＜周望・穴生＞
 - ・ 災害時の災害ボランティアとの連携・支援体制整備 ＜周望・穴生＞
 - ・ 宿泊機能を活かした緊急避難場所としての整備検討 ＜周望＞

重 (2) 災害ボランティアセンター設置に向けた協働の体制整備

- 新**・ 東日本大震災への災害ボランティアセンター支援職員派遣 <全部署>
- ・ 災害救援活動者の養成 <活動推進課>
災害ボランティアコーディネーター養成 (1 講座 40 人)
 - ・ 災害ボランティアセンター設置に向けた協力体制の醸成 <活動推進課>
市防災会議への参画、全社協災害支援者養成研修への参加
 - ・ 消防機関等が行う防災訓練・実技指導会への参加 <活動推進課>
市防災訓練へ 16 人の参加協力

5 福祉等専門職の地域への参加、参画の推進

(1) 地域包括支援センターと区社会福祉協議会の連携による専門職の参加の促進

- 重**・ 地域包括支援センターとの連携 <地域福祉課・生活福祉課>
- ・ 地域包括支援センターと地域活動情報支援センターとの連携による需給調整 (56 件 752 人) <周望・穴生>

(2) 校(地)区社会福祉協議会連絡調整会議等への専門職の参加の促進

- ・ 社協職員 (専門職) の地域への参画 <地域福祉課>
- ・ 福祉専門職の連絡調整会議等への参加の呼びかけ <地域福祉課>

(3) 災害時における施設の介護等専門職の貢献

- ・ 関係団体・機関との調整、関連会議への参画 <活動推進課>

基本目標 Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、 福祉のネットワークをつくろう

市民の価値観や生活様式の多様化によって、日常生活上の問題についても複雑化し、いくつかの問題を同時に抱える場合もあります。

そのため、保健、医療、福祉等の関係機関・団体の連携を強め、総合的に問題・課題の解決を図ります。

それぞれの連携体制については、外部にも見える形で進めています。

目標達成のための取り組み

1 福祉サービス事業者との連携・調整

(1) 専門研修の実施

- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会 <振興課>
(メンタルヘルス研修 年1回 参加者110人) (再掲)

(2) 関連会議等への参加・参画や開催

- ・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施 (再掲) <全部署>
- ・ 北九州市高齢者介護の質の向上委員会への参画 (4回) <生活福祉課>
- ・ 統括支援センター、地域包括支援センターへの職員派遣を通しての連携
<生活福祉課>
(社会福祉士 9人、主任介護支援専門員 5人、介護支援専門員 9人)
- ・ 関係機関を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施
(年7回 207人) <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者、法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加
<権利擁護・市民後見センター>
- ・ 成年後見制度に関連する会議への参加 <権利擁護・市民後見センター>

(3) 福祉人材バンク機能の充実

- ・ 社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓 <福祉人材バンク>
(求人数663件1,670人、採用者数36人)
- ・ 求職登録者への定期的な求人情報の提供 <福祉人材バンク>
- 重**・ 「福祉の職場 合同就職面談会」の充実 <福祉人材バンク>
(年2回開催、求人施設83施設、求人件数256件772人、求職者291人
採用者20人)
- ・ 福祉サービス事業者が安全・安心に労働できる職場環境整備の推進
(メンタルヘルス研修1回110人) (再掲) <振興課・福祉人材バンク>
- ・ 各区社協への求人情報等の提供 (概ね月1回) <福祉人材バンク>
- 新**・ 介護有資格者向け就労支援セミナーの開催 <福祉人材バンク>
(介護有資格者就労支援セミナー開催3回91人)

2 地域福祉関係団体との連携・調整

- (1) 子育て支援に関する保育所機能の地域への周知
・ 子育て支援に関する保育所等機能の地域への周知 <地域福祉課>
- (2) 精神保健福祉分野での連携と調整
・ 精神保健福祉分野での連携と調整 <地域福祉課>
(北九州市自殺対策連絡会議への参画 2回)
- (3) 社会福祉施設と地元校(地)区社会福祉協議会の連携の促進
・ 社会福祉施設と地元校(地)区社協の連携の促進 <地域福祉課>
(ウエルクラブ活動による社会福祉施設及び校(地)区社協と連携 18地区
参加者 393人)
- (4) P T Aを含めた子育て関係機関・団体と民生委員、主任児童委員との連携
・ 子育て支援団体・グループ等や民生委員児童委員、主任児童委員との連携 <振興課>
- (5) 市民センターとの連携
・ 高齢者の地域活動促進のための地域活動者の交流授業の実施
(研修生の市民センター活動見学 11回 146人) <周望・穴生>
・ 福祉施設及び市民センターにおける体験学習の実施と活動支援(再掲)
<周望・穴生>
- (6) 民生委員・児童委員との連携
・ 市民生委員児童委員協議会事務局の運営 <振興課>
(会議:延べ31回、研修会:4回)
・ 市・区民生委員児童委員協議会との連携 <振興課>
・ 民生委員互助共励事業の実施による民生委員活動の充実と推進 <振興課>
(弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業の実施)
- (7) 関連会議への参加・参画や開催
・ 福祉ボランティア教育用副読本編集委員会へ参画 3回 <活動推進課>
・ 北九州市ホームレス自立支援推進協議会への参画 4回 <地域福祉課>
・ 福祉人材バンク事業における福岡労働局、ハローワークとの連携
<福祉人材バンク>
・ 「ウエルとばた」入居者との情報交換等による福祉団体等とのネットワーク
づくりの推進 <施設部>
・ 「ウエルとばた」入居団体及び周辺地域団体との総合防火・防災訓練の実施
(年2回 5月、11月) <施設部>
- (8) 民間福祉活動の支援
・ 各施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加 <振興課>
(関係省庁:全社協等の情報を社会福祉施設等へ提供)
(保育所連盟行事、児童養護施設協議会行事等への参加)
- 新** 大都市社会福祉施設協議会北九州大会の開催準備会の実施 <振興課>

- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業の実施 <振興課>
(加入状況 197 施設、3,991 人加入)
(共済事業担当者会議 : 84 人、研修会 : 110 人)
- ・ 民間社会福祉施設整備資金等貸付事業の実施 <振興課>
(3 件 4,000 万円)
- ・ 寄付行為に伴う寄贈施設の斡旋 <振興課>
(2 団体からの寄贈物品を 11 施設・団体へ斡旋)
- ・ 年長者研修大学校での老人クラブ研修の実施 <周望・穴生>
(周望 年間研修 16 コース 625 回 19,283 人)
(周望 老人クラブ 3 コース 12 回 651 人)
(穴生 年間研修 16 コース 778 回 17,343 人)

3 共同募金会との連携

(1) 募金活動への協力体制強化

- 新・ 東日本大震災支援のための街頭募金、義援金募金 <全部署>
(街頭募金 4 日、協力 V0 109 人)
 - ・ 北九州市各区支会連絡協議会業務の遂行 <振興課>
(福岡県共同募金会配分委員会・推進委員会出席)
 - ・ 共同募金への理解と PR を目的とした啓発パネル展の実施 <振興課>
関係機関・団体のイベント等でパネル展実施
(ふれあいフェスタ 2010 で共同募金啓発パネル展の実施)
 - ・ 校(地)区社協単位の募金への協力による募金運動の促進 <地域福祉課>
- #### (2) 歳末見舞金の地域活動への有効活用
- ・ 区社協への働きかけ <振興課>
(定例の区社協事務局長・市社協課長連絡会議で協議)

4 調査・研究、提言

(1) 新しい仕組みづくりに関する研究

- 新・ 校(地)区社協でのサロン活動のための調査研究 <地域福祉課>
(実態調査 1 回)
- ・ 年長者研修大学校運営に関する調査研究グループ育成 <周望・穴生>
(ニーズ等調査 周望 15 回、穴生 7 回、夢追塾 31 回)
- ・ にぎわいづくりのための校内売店等の設置 <周望・穴生>
(障害者福祉施設パン販売 概ね週 1 回)
(ボランティアグループによる食品販売 年 6 回)
(周望学舎同窓会の協力による売店、喫茶の設置)
- ・ 年長者研修大学校修了生等の活動拠点の確保 <周望・穴生>
- ・ ビル緑化、雨水や自然エネルギーを活用する省エネ・省資源による施設運営の研究 <周望・穴生>

- (周望 食堂厨芥の堆肥化推進、雨水の活用)
- (周望 1F 研修室暑さ対策としてグリーンカーテン設置)
- (穴生 喫茶たんぼぼ暑さ対策としてグリーンカーテン設置)
- ・ 研修生の環境リサイクル運動への取り組みの場と、リデュース・リユース思想の普及 <周望・穴生>
 - (周望 省エネ委員会の開催 年2回)
 - (周望 園芸ボランティアの活用)
 - (周望 ペットボトルリサイクルオブジェ展示による啓発)

(2) ニーズ調査

- ・ ボランティア養成講座等修了後の活動追跡調査の実施 <研修課>
- ・ 高齢者学習ニーズ等調査及び情報収集と調査研究 <周望・穴生>
 - (研修生アンケート 18回、追跡調査 2回)
- ・ 夢追塾塾生のニーズ調査 <周望・穴生>
 - (研修生アンケート 30回、追跡調査 1回)
- ・ 地域活動コーディネートのためのニーズ調査 <周望・穴生>
 - (研修終了後の活動調査 2回)
- ・ 地域リーダー養成コース学習成果の調査結果冊子の配布 <穴生>

(3) 実態調査

- ・ ボランティア活動実態調査 (635 団体回答) <活動推進課>
- ・ 送迎サービス対象世帯訪問調査 (214 世帯訪問) <活動推進課>
- ・ 年長者研修大学校修了後の地域活動追跡調査 (再掲) <周望・穴生>
 - (周望 1回、穴生 1回)
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミーの運営と調査・提言 <周望・穴生>
 - (運営改善委員会への諮問と提言 3回)
- ・ 夢追塾塾生の卒塾後の実態調査 1回 (再掲) <周望・穴生>

5 地域福祉活動計画の推進

(1) 計画の普及

- 重**・ 社会福祉施設、民間事業所等に対する計画の周知 <振興課>
 - (民間社会福祉事業従事者共済事業の研修会等で計画の周知 H22・8・6)
- 新**・ 関係機関・団体や市民との北九州市地域福祉活動計画第四次計画～住民ふくしの元気プラン～策定による計画の普及 <地域福祉課>
 - (意見交換 16回 408人、関係機関・団体 298団体から意見聴取)

(2) 進捗状況の評価・点検と見直し

- 新**・ 北九州市地域福祉活動計画第四次計画～住民ふくしの元気プラン～の策定 (企画委員会 6開催) <地域福祉課>

(3) 校(地)区単位の活動計画づくりの普及

- ・ 複数年の校(地)区単位の活動計画づくりの普及 (再掲) <地域福祉課>

基本目標 IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

日常生活上で支援を必要とする人に対して、プライバシーにも配慮しながら、安全で安心な暮らしを守るための支援活動を行ないました。

目標達成のための取り組み

1 権利の擁護と福祉サービス利用援助

重 (1) 権利擁護・市民後見センター機能の充実

(平成22年度末 地域福祉権利擁護事業 実契約者数 286人)

(平成22年度末 法人後見事業 成年後見人等受任数 31人)

- ・ 権利擁護に関わる相談機能の強化(相談781件) <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 福祉サービス利用援助を中心とした生活支援サービス内容の充実
(生活支援サービス総回数 5,024回) <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 地域福祉権利擁護事業での利用者に身近な拠点づくりの検討
<権利擁護・市民後見センター>
- ・ 専門員、支援員の研修及び事例検討会実施による職員の資質向上
(支援員研修会の実施 1回 21人) <権利擁護・市民後見センター>
(支援員、専門員合同研修会の実施 1回 32人)
(ブロック会議の実施 2回 60人)
(参加研修会延べ回数 7回 8人)
- ・ 介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等との連携
<権利擁護・市民後見センター>
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援
(法人後見事業移行件数 5件) <権利擁護・市民後見センター>

(2) 成年後見制度の利用促進

重 ・ 法人後見事業の充実 <権利擁護・市民後見センター>

- ・ 北九州成年後見センター「みと」との連携 <権利擁護・市民後見センター>
(成年後見センターへ繋いだ相談 13件)
- ・ 成年後見人等受任に関わる家庭裁判所との連携 <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等との連携 <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 市民後見人養成研修の実施と市民後見人が個人で選任される仕組みづくりの検討
<権利擁護・市民後見センター>
(公開講座1回 57人、実務研修10日間 延べ115人、フォローアップ研修1回 43人)

(3) 他機関・団体とも連携した子ども・高齢者・障害のある人などの生活保障の取り組み

- ・ 地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応
<権利擁護・市民後見センター>

- ・ 権利擁護事業の理解の促進と福祉サービス等情報の提供 <周望・穴生>
(全研修生を対象に社協活動、サポーター事業等紹介 3回)

2 相談・苦情への対応と情報提供

- (1) 心配ごと相談所の運営 <振興課>
 - ・ 相談状況(相談件数 1,103件 解決 322件 他機関 547件、その他 234件)
 - ・ 市民への広報の充実(広報チラシ 40,000部作成配布) <振興課>
- (2) 介護サービス相談事業の充実
 - ・ 介護サービス相談員派遣事業の充実(37事業所拡大) <生活福祉課>
(144事業所、派遣回数 41,850件、相談 19,046人)
 - ・ 介護サービス相談員連絡会開催 年4回 <生活福祉課>
- (3) 福祉関連の就業に関する相談
 - ・ 求人・求職に対する相談と情報把握の充実 <福祉人材バンク>
(求人相談 1,912件、求職相談 4,238件)
(介護有資格者向就労支援セミナー 応募者 91人)(再掲)
- (4) 苦情への対応
 - ・ 地域福祉権利擁護事業利用者の苦情申立ての支援 <権利擁護・市民後見センター>
- (5) 市民への情報提供
 - ・ 生活福祉資金相談コーナー窓口での相談受付 <振興課>
生活福祉資金巡回相談の実施や教育支援資金制度説明会の実施
(窓口等相談件数 4,574件、修学資金制度説明会 年2回)
 - ・ ふれあいネットワーク事業を通じた市民への情報提供 <地域福祉課>
(事業を活用した認知症サポーター養成、消費生活センターへ情報提供)

3 社会参加・自立の支援

- (1) 健康と福祉のまちづくり事業の推進
 - ・ 市民の健康づくり支援として健康ウォーキング、ニュースポーツ出前
体験事業等の実施(再掲) <周望・穴生>
(健康ウォーキング等 401回 14,702人)
- (2) 高齢者の社会参加・自立の支援
 - ・ 高齢者地域交流支援通所事業(地域交流型デイサービス)の実施 <生活福祉課>
(市民センター49箇所 週2回、実施日数 4,708日、54,335人利用)
(デイサービス利用者意識調査 1回)
 - ・ 老人クラブ連合会との連携による研修事業等の実施 <周望・穴生>
(単位老人クラブ新任会長宿泊研修 4回 114人)
(全市老人クラブ女性リーダー宿泊研修 2回 79人)
(老人クラブ会員研修 6回 458人)

- ・ 高齢者の生きがいや健康、生活の質を高めるための各種研修事業の充実
＜周望・穴生＞
 - ・ 団塊の世代の社会貢献や起業支援を行う夢追塾事業の実施（再掲）
＜周望・穴生＞
 - ・ 地域活動リーダーの養成と地域貢献などを旨とする専門コースの実施（再掲）
＜周望・穴生＞
 - ・ 高齢者の生涯学習に対する意識啓発と受講機会の拡大を図るための大学活用型校外授業（シニアカレッジ）の実施
＜周望・穴生＞
 （周望 2回 878人、穴生 2回 1,152人）
 - ・ 高齢者の社会参加活動支援のための場の提供
＜周望・穴生＞
 （105団体 1,839回 20,171人）
 - ・ 高齢者が高齢者を支援する「ふれあいいきいきサロン」事業の実施（再掲）
＜周望・穴生＞
 - ・ 高齢者の健康・体力づくり事業及び「健康プログラム」による運動処方箋の提供（再掲）
＜周望・穴生＞
 - ・ 高齢者の特性にあわせた自主講座の実施
＜周望・穴生＞
 - ・ 研修生・夢追塾塾生との意見交換会・交流会の実施
＜周望・穴生＞
 （各学舎 3回実施）
 - ・ 地域活動情報支援センターの設置による人材育成と需給調整及び情報収集・発信、地域活動支援、修了後の活動支援（再掲）
＜周望・穴生＞
 - ・ 北九州市長と夢追塾5期生、卒塾生との交流 85人
＜周望・穴生＞
- （3）家族介護者の支援の充実
 - ・ 高齢者見守りサポーター派遣事業の充実
＜生活福祉課＞
 （利用登録者 77人、派遣回数 218回）
 （サポーターフォローアップ研修 1回）
- （4）障害児（者）の社会参加・自立の支援
 - ・ 生活福祉資金貸付制度等の運用
＜振興課＞
 （貸付件数、金額 8件 7,627千円）
 - ・ 小規模作業所と連携した収益事業の充実
＜振興課＞
 （太陽パン製造のまちづくりクッキーの販売 854箱販売）（再掲）
- （5）母子・父子世帯の社会参加・自立の支援
 - ・ 生活福祉資金貸付制度等の運用
＜振興課＞
 （貸付件数・金額 51件 29,695千円）
- （6）低所得者世帯の自立の支援
 - ・ 生活福祉資金貸付制度等の運用
＜振興課＞
 （貸付件数、金額 1,027件 307,087千円）
- （7）ホームレスの自立の支援
 - ・ ホームレス問題への市民の理解の促進
＜地域福祉課＞
 （北九州ホームレス自立推進協議会への参画 4回）

推進の基盤づくり

社会福祉法は、地域福祉の推進役として社会福祉協議会を位置づけています。

校(地)区社会福祉協議会・区社会福祉協議会・市社会福祉協議会は、一体となって「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めていくために、各域社協で「組織づくり」「活動拠点の確保」「活動点検」「役割分担」「財政基盤の強化」の視点をもって基盤づくりを行い、連携・協働しながら、地域福祉活動を計画的に推進しています。

1 校(地)区社協の基盤整備

- ・ まちづくりクッキーの販売等自主財源確保の取り組み支援 <振興課>
- ・ 校(地)区社協活動者の人材育成 <地域福祉課>
- ・ 市民センター等活動拠点確保のための調整 <地域福祉課>
- ・ ふれあいネットワーク事業「実績報告書」等による活動点検 <地域福祉課>
- ・ ふれあいネットワーク事業の充実・強化による校(地)区社協の地域での役割分担の明確化 <地域福祉課>
- ・ ふれあいネットワーク事業の充実・強化による小地域福祉活動の財源確保の取り組み <地域福祉課>

2 区社協の基盤整備

- ・ 市社協正副会長・区社協会長合同会議の開催(4回) <総務課>
- ・ 市社協課長・区社協事務局長合同会議の開催(11回) <総務課>
- ・ 収益事業の拡充 <振興課>
- ・ 共同募金の募金手段等の検討 <振興課>
- ・ 財団等助成金の活用促進 <振興課>
- ・ 市・区社協共同事業の実施 <地域福祉課>
- ・ 区社協の活動財源確保の支援(校区啓発ポスター提案) <地域福祉課>
- ・ 活動拠点の確保 <活動推進課>

3 市社協の基盤整備

- ・ 広報活動を兼ねた啓発物品の販売 <全部署>
- 新**・ 市・区社協の法人のあり方検討 <総務課>
- 新**・ 社協の将来を考える職員ワーキングの実施(12回) <総務課>
- ・ 職員連絡会議の開催による情報の共有(6回) <総務課>
- ・ 研修の実施による職員の能力開発(4回) <総務課>
- ・ 事務事業の見直し <総務課>
- 新**・ 賛助会員増強運動の実施 <振興課>

(企業・団体会員 152 社、個人会員 48 人、会費合計 734 万円)

- ・ 自主財源確保の企画・提案 <振興課>
- ・ 収益事業の拡充（再掲） <振興課>
- ・ 共同募金の活性化支援（再掲） <振興課>
- ・ 地域福祉活動担当者会議の開催（6回） <地域福祉課>
- ・ 総合企画委員会での活動点検・評価 <地域福祉課>
- ・ 指定管理業務の推進 <施設部・北九州シニアネットワークアカデミー>
（ウエルとばた、年長者研修大学校、北九州穴生ドーム、夢追塾）
- ・ ウェルとばたでの、入札による物品購入の推進や省エネによる更なる経費削減 <施設部>

常設委員会の実施

市社協が実施する事業を適正に遂行するよう、各種常設委員会にて協議を行っていきます。

- ・ 生活福祉資金調査委員会（4回） <振興課>
- ・ 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（2回） <振興課>
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会（2回） <振興課>
- ・ 総合企画委員会（6回、正副委員長会議 5回） <地域福祉課>
- ・ 権利擁護・市民後見センター監視委員会（4回） <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 権利擁護・市民後見センター運用委員会（17回） <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 福祉人材バンク事業運営委員会（1回） <福祉人材バンク>
- ・ ボランティア・市民活動センター運営委員会（4回） <活動推進課・研修課>
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー運営改善委員会（3回） <穴生>

専門委員会

- ・ 新たな市民参加と他分野との協働に関する専門委員会（6回） <活動推進課>
- ・ 研修専門委員会（5回） <研修課>